

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-18 勤労者福祉支援事業 □支援部門									
主管課	産業振興課	関連課								
分野名	勤労者福祉									
目標 (目標値)	湘南勤労者福祉サービスセンターの活動を支援し、勤労者福利厚生事業の充実を図る。									
人口等の データ	データ区分	24年度	23年度	22年度	備考					
	人口	177,224人	177,204人	177,161人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世帯数	79,669世帯	79,217世帯	78,812世帯						
運営資源 状況	事業の対象者数									
	決算値(千円)	31,818	30,769	31,974						
	(国・県)			8,600						
	(負担金等)									
	(一般財源)	31,818	30,769	23,374						
	人員配置数	0.5	0.5	0.5						
	人件費(千円)	4,093	4,309	4,309						
事務事業 運営経費	協働の パートナー									
	総事業費(千円)	35,911	35,078	36,283						
	市民1人当 りの経費(円)	203	198	205						
	対象者1人 当りの経費(円)									
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒	鎌倉・藤沢・茅ヶ崎市	厚木市	平塚市	座間市	小田原市	相模原市	座間市		
	中小企業勤労者数	170,389人	99,255人	95,042人	34,845人	59,122人	194,566人	34,845人		
	会員数	9,935人	4,976人	1,530人	1,028人	2,680人	17,495人	1,028人		
	加入率	5.83%	5.01%	1.61%	2.96%	4.53%	9.00%	2.95%		
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(27年度)			
提供事業の利用者数 (23年度以前はセンター統合前)	◎	目標値	9,500人	15,000人	15,000人	15,000人	32,000人			
		実績値		14,202人	11,418人	12,418人	30,680人			
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退										

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H24決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
勤労者福祉支援事業	1,791千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ ■A □B □C □D □E	事業の概要 労働相談・労働法律相談・メンタルヘルスカウンセリングを実施、勤労者の自己啓発や余暇活動のためのセミナー等を実施する。	
	30,027千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E	事業の概要 鎌倉市の事業を継承したサービスセンターの運営を助成する。	
勤労者福祉サービスセンター助成事業		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	事業の概要	
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	事業の概要	
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○	⇒ □A □B □C □D □E	事業の概要	

事務事業の課題及び取組状況

H24年度の課題	統合により経営効率化と事業充実が進むものの、中小企業がサービスセンターへ新規加入しなくなる魅力ある新規コンテンツの充実が必要である。		
課題解決のための取組	平成24年10月に鎌倉、藤沢両センターが統合するとともに、茅ヶ崎市が新規に参画し広域センターとなった。センター管内を区分した地区会議により利用者の声を反映するなどの取り組みを行った。	取組の結果	□解決 ■未解決
未解決の課題	統合半年を経て、スケールメリットの追求と事業への反映を今後本格的に進めていく必要がある。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 ○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了	
	➡	②妥当性 ○		統合されたサービスセンターにおいて、鎌倉市内会員の利便が損なわれないようサービス面を監視していくとともに、運営費節減についても引き続き効率的な予算執行となるようチェックしていく。	課長等名	
		③有効性 ○			C	産業振興課課長代理
		④公平性 ○				濱本 正行

(2面) 個別事業の評価

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	評価⇒適切=○、要改善=△(1面の評価の視点を参照)			
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
勤労者福祉支援事業	主な個別事業	1.053 勤労者福祉サービスセンター事業委託料	900	900	○	○	○	○
		1.053 広域サービスセンター事業委託料	445	445	○	○	○	○
		1.053 勤労者福祉サービスセンター事業補助金	446	446	○	○	○	○
勤労者福祉サービスセンター助成事業	主な個別事業	1.231 広域サービスセンター運営事業費負担金	15,960	14,212	○	○	○	○
		1.231 勤労者福祉サービスセンター運営費補助金	14,845	13,815	○	○	○	○
		1.231 広域サービスセンター出損金	2,000	2,000	○	○	○	○
	主な個別事業							
	主な個別事業							
	主な個別事業							